



Rotary International District 2650 Nara Japan

奈良大宮ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

■創立：昭和54年1月23日 ■例会：毎週火曜日 17:30
 ■事務所：奈良市大宮町6丁目2-1 南都銀行大宮支店内 電話 0742-33-8583
 ■例会場：奈良市高畑町1096番地 奈良ホテル本館 電話 0742-26-3300(代)
 ■会長：富川 悟 ■副会長：小西敏文 幹事：植村将史



山の辺の道 崇神天皇陵

1486回例会

会長報告

まず一点目ですが、先週土曜日、12月5日に地区の新世代育成シンポジウムがございました。それに私と幹事、それから新世代委員長の三名が出席してまいりました。テーマは、「人とロータリーに育てられて」ということで、2660地区のバスターガバナー井上暎夫氏の講演がありまして、これからの新世代委員会の取り組み方等についての色々なお話がありました。それから二点目ですが、前年度もしたと思いますが、クラブ規則・規定見直し特別委員会が結成されておりました。箸尾委員長のもとに活動をして頂いた訳ですが、本日箸尾委員長から申し入れがございまして、所謂特別委員会の発動がロータリー情報委員会の活動に屋上屋を重ねる事になるのではないだろうか、ということで、今年度の八月の理事会にこの特別委員会を最終したい、という申し入れがございました。理事会の方で少し手間取っておりましたが、本年度、お粗末ながらこの特別委員会を最終するという事で理事会によって決定いたしました。そういうことで、今後の事につきましては、来年2010年には規定審議会が行われます。それに伴いましてクラブの情報委員会の方でクラブのそういったことにつきまして決定して頂く、ということにさせていただきますので、宜しくお願い致します。それともう一つは、私どもの武中会員の弟さんが、先週お亡くなりになったということがございます。ご冥福をお祈りしたいと思います。

次年度第一回理事会報告

矢追会長エレクト

みなさんこんばんは。この一日のクラブの総会で2010-2011年の理事役員のご承認を頂きまして、早速第一回目の理事会を開かせて頂いておりますので、ご報告させていただきます。まず常任委員会の役割分担ということで、会員組織委員長に井上正行さん、奉仕プロジェクト委員長に小西敏文さん、ロータリー財団委員長に武藤廣茂さん、クラブ広報委員長に富川悟さん、クラブ管理委員長に藤井正勝さん以上が常任委員長です。次に理事の役割分担ということですけれども、職業奉仕に楠木重樹さん、社会奉仕に橋本和典さん、新世代委員長に谷川千代則さん、国際奉仕委員長に小西敏文さん、会長・副会長の代行順位ということで、一位に楠木重樹さん、二位に小西敏文さん、三位に橋本和典さん、四位に武藤廣茂さん、五位に谷川千代則さんということです。次に、会場監督の選任ということで、次年度は中條章夫さんということで理事会で承認を頂いております。その次に、副会計・副幹事・副SAの選任ということで、副幹事に増井義久さん、副会計に山本尚永さん、副SAに宮西正伸さん以上、決定させて頂きました。そういうことで、次年度2010-2011年の理事会にはSAの中條章夫さん、副幹事の増井さんに出席頂くということで理事会に承認頂きましたので、ご報告させていただきます。

▼次項へつづく

発行日 / 2009年12月15日
2009-2010 / 22

Vol.31

No. 1487

HP : <http://naraomiya-rc.jp>
E-mail : info@naraomiya-rc.jp



育てよう、人。

2009～10年度
第2650地区のテーマ

「育てよう人」

国際ロータリー第2650地区
ガバナー 富田謙三



四つのテスト

- 真実かどうか
- みんなに公平か
- 好意と友情を深めるか
- みんなのためになるかどうか

例会プログラム

第22回 12月15日
通算1487回

1. 開会の点鐘 17時30分
2. ソング

「奉仕の理想」

3. お客様の紹介
4. 会務報告

6. 卓話

「奈良県消防の広域化」

奈良県総務部知事 岩口 清

消防救急課長 岩口 清 様

7. 閉会の点鐘 18時30分

例会状況報告

第21回 12月8日
通算1486回

R.C.は出席から 1486回

- 会員数 68名
- 出席免除者数 21名
- 出席者数 55名
- 補填者数 -
- 出席率 88.7%

1483回の修正

- 会員数 68名
- 出席免除者数 21名
- 出席者数 43名
- 補填者数 7名
- 出席率 96.6%

委員会報告

潮田国際奉仕委員長

みなさんこんばんは。国際奉仕委員会からお願いとお知らせを申し上げます。
一点目は、国際ロータリーのモントリオールでの国際大会の参加の案内ということで、これから年末年始にかけてパンフレットを回させていただきます。参加を計画されておられる方、或いは行ってもいいと考えて頂いている方、それをご覧になって、私、もしくは副委員長の平方さんまで連絡して頂きたいと思ひます。
二番目に、WCSのキリバスの話をしましたが、1月25日出発ということで、当クラブからはまだ誰も申し込みがないんですが、あと3～4日ありますので、是非とも参加お願いします。奈良クラブからは、岡村パストガバナーご夫妻も参加されるご予定ですので、ご考慮のほど、宜しくお願い致します。
三つ目は、WCSが恐らく来年から国際奉仕から財団の方に管轄が移るようでございます。そのことをお知らせ申し上げます。

それとこれは国際奉仕委員長から、或いはWCSの地区の委員からのお願いですが、今年キリバスに訪問することになっているんですが、実は教育支援として鉛筆が欲しいのです。販売促進用品等で鉛筆が残ってありましたら、私か平方さんにご連絡頂きたいと思ひます。島自体は海拔2mの島で、廃棄物を捨てる所がありませんし、処理に非常に困りますので、プラスチックのボールペンなどではなく、木製なら自然に還りますので、最近はあまり使っていない方がおられないかとは思ひますが、出来ましたら（木製で）さらの、もしくは古いものでも削っていない鉛筆をお願いします。

箸尾規則・規定見直し特別委員長

先程会長の方からご説明がございました通り、見直し委員会を終結、解散させて頂きたいと思ひます。お詫び申し上げますとともに、諮問を頂きました歴代会長、そしてまた作業部会でご尽力頂きました方に深甚のお礼を申し上げたいと思ひます。どうもありがとうございました。

西口職業奉仕副委員長

職業奉仕委員会よりご案内申し上げます。地区の職業奉仕委員会の方から、出席要請が来ております。来年の2月20日なんですが、出席義務者の方がこれははっきりと書かれておまして、入会三年未満の会員等10名ということで、（入会后）3年もしくは4年位の方々、一緒に行かせて頂ければと思っております。またご案内致します。宜しくお願い致します。

多田廣ロータリー情報副委員長

先週「ロータリーの現状と未来」というアンケートを皆さんにお配りさせて頂いております。メ切は今月いっぱいですが、22日が最終となっておりますので、できるだけ早くご提出頂きますようお願い申し上げます。

幹事報告

まず、地区大会の参加申し込みが非常に迫っておりまして、12月21日となっております。いま参加の出欠の方回っているかと思ひますけれども、奮って参加のほど宜しくお願い致します。続きまして、地区大会の時に行われます新会員セミナーの案内が来ております。先程西口副委員長の話にもありましてけれども、これも入会三年未満ということで、是非参加するように、という要請が来ておりますので、改めてご案内申し上げますが、お願いしたいと思ひます。

次に、「滋賀湖北ロータリークラブ」の名称が、長浜市等との合併に伴い、「長浜北ロータリークラブ」になるという変更の連絡が来ております。それと、ゴルフの案内が二通来ております。一つは、日本ロータリー親睦ゴルフ大会。日程が3月15日で沖縄でございます。もう一つは、国際ソロプチミスト奈良のゴルフ大会。これは3月30日に奈良の奈良国際ゴルフクラブでございます。ご参加頂けます方は、私の方で資料を預かっておりますので、遠慮なくお申し付け下さい。次に、各委員長その他のみなさま、お出かけになった折に旅費請求をして頂こうと思ひまして、事務局で書式をつくってもらいましたので、出張して頂いた方は、事務局に用紙をもらい、それに記入して頂いて請求をして頂いたら良いかと思ひます。

例会変更

*五條ロータリークラブ

・2010年1月6日（水）…家族例会の為、場所変更。12：30～ リバーサイドホテル
※ビジター受付は行いません。



本日計 19,000円 累計 1,195,000円

次週の例会

12月22日 家族親睦忘年例会

宮西 正伸 君 誕生日、結婚記念日のお祝い有り難うございます。
齋谷 静 君 結婚記念日にお祝いをいただきありがとうございました。
有井 邦夫 君 大変うれしい事！ありました。ニコニコ・・・
藤井 正勝 君 矢追様 お世話をおかけしました。ありがとうございます。
渡辺 英孝 君 ニコニコ協力です。

「ニューオーリンズ～ホールと教会が残った～」

植村 脩 氏（前なら100年会館々長）



皆さんこんばんは。ご紹介いただきました、なら100年会館前館長の植村でございます。

人生の大半を、NHKの文科・教育番組のディレクター、プロデューサーをやってきました。後半NHK文化センター（教室など）、そして文化ホールの運営と、文化系の仕事をやってまいりました。特にホールに携わって、以前、文化は消費・生産性がないと言われた時代がありました。いまは経済と文化は繁栄の両輪と言われている様に、その見方が変わってきました。それで今日は、文化、「文化の力」のお話をさせていただきたいと思います。

2005年の夏、アメリカはニューオーリンズの街を、巨大ハリケーン・カトリーナが襲いました。その時のNHK・BSニュースで、家が倒れ、水浸しの街を背景にインタビューに答えた中年の男性が、あ

る方向を指して「あれを見てくれ。この街にはホールと教会が残った。あれさえあれば、この街は必ず再現できる」と誇らしげに語ったことが、いつまでも私の心に強く残りました。

ホールで本場のオペラを観た人が「私、奈良で本物を観られるなんてホント幸せ!」、歌謡ショウが終わって「あーよかった」、芝居を観て「元気が出てきた。明日から頑張るぞ」と言って出てくる姿をよく拝見し、やりがいを感じました。

このようにホールでの音楽や演劇は、人々を喜ばせ、癒すだけでなく、人の心に「活力」を湧かせます。音楽や舞踊、演劇、伝統芸能・行事など、芸術、芸能、学術、歴史遺産、放送など、みんな文化です。この「文化の力」（河合元文化庁長官は、「文化力」と呼ばれました）が人々に元気、やる気を与え、街を活性化し、反映させる大きな要素になると言われています。このことは、歴史が証明しているようです。

その昔、ギリシャとカルタゴがあり、カルタゴは通商国家で、征服した都市を商品の流通場所程度にしか考えませんでした。片やギリシャは、進出するとまず神殿を造り、劇場を建て、それを核にして街が造りました。現在、経済だけに生きたカルタゴはなく、文化に生きたギリシャは存在し、遺産も沢山遺しています。こうしたギリシャ文化は、その後、キリスト教と共にヨーロッパに広がり、各都市には教会と劇場、ホールが建てられていきました。パリのオペラ座にノートルダム大聖堂、ミラノのスカラ座にミラノ大聖堂、毎年ニューイヤーコンサートをやっているウィーンの楽友協会大ホール（通称：黄金のホール）、また毎年音楽祭を催しているザルツブルグの宮殿ホール、カラヤンが指揮をしていたベルリン・フィルハーモニーホールなど、歴史ある有名なホールが数多くあり、今も盛んに文化活動が行われています。ホールで町興しの精神は、アメリカのニューオーリンズでも生きていたと言えましょう。このようなことから、私たちは、「文化の力」というものを、もっとアクティブなものと考え、100年会館の目的の第一条を、「文化の向上を図ると共に、豊かな地域づくりに努める」ことに改定し、海外の一流プレイヤーの講演、伝統芸能、市民参加や参画を積極的に取り上げ、出向講演などもやり、地域興しに努めています。一般に万博や花博など、官製のイベントは一年限り、一過性の場合が多く、市民が考え、市民参加の祇園祭や阿波踊り、おん祭りなどは長年続き、毎年街を賑わせています。

奈良市には他府県がうらやむ世界遺産や、多くの文化財があります。それを基にして、市民がおこなっている「燈火会」のような'奈良ブランド'で地域づくりをすることが、奈良の街を繁栄させるものと信じています。

やれる所は自分でします。（堀内眞治）



入会の時にも少しお話しましたが、いまだに、一番の趣味は、「車」です。乗るのもイジルのも好きで、若い時は車の解体屋さんで部品を買って来ては、付けたり外したり楽しんでいました。年を追うごとに忙しくなり、車イジリの時間も少なくなってしまいましたが、今でも僕の営業車・自家用車・妻の車などは、自分でオイル交換をする等、軽整備はしています。先日11年乗っている、妻の車のオイル交換及び点検をしていると、（写真下）ラジエーターの水が無い!!調べていくとエンジンの中に消えている事が判明しました。これは、僕の手には負えないので、今はドック入りしている所です。「での年式考えるとぼちぼちな〜・・・」妻からも、「安心して乗れる車がいいな〜」とスッカリ嫌われた様子でした。これは、いよいよ本気で考えないといけないようですね。でも、まった

く手の掛からない車もそれはそれで、寂しい様な気もしますが・・・

などと、あれこれ考えながらこれからも家族に迷惑を掛けずに、車と楽しく付き合っていきたいと思っています。